

# ICTを活用した学習のこれまでとこれから

## 高知県立高知江の口特別支援学校



# 発表の流れ



I 医学部分校について

II 平成30年度 ～ の取組

III 令和4年度の取組

# I 医学部分校について

# 高知大学医学部附属病院分校

昭和58年 本校の訪問教育対応

平成10年 分校となる

R3年度 延べ小学部6名 中学部7名  
R4年度 延べ小学部4名 中学部7名  
R5年度 教員数小学部2名 中学部3名



# 教室－小学部・中学部



入り口



小学部教室



中学部教室

# 図書室



## ◆関係機関との連携

○児童生徒や保護者が安心して治療と学習を両立できるように  
病院や前籍校等との連携を図る。

- 医教連絡協議会[年2回]の実施(開かれた学校づくり)
- 医教連絡会[年5回程度]の実施
- 支援会議[前籍校、病棟、分校、他]—退院時、又は必要に応じて



# ◆授業の様子

## ◇小学部

国語の時間

(居住地校交流)



## ◇ベッドサイド



## ◇中学部 (総合的な学習の時間)

「管理栄養士さんの仕事について」(R3)

「理学療法士さんの仕事について」(R4)





# 課外活動

VR(仮想体験)



看護学生さん  
と一緒に

**平成30年度の実践を振り返る**

## ■小学部 ICT機器の教科別活用状況

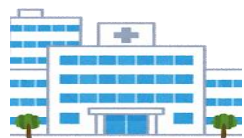
教科	ICT機器	◇活動内容・★アプリ名・◇番組名・☆Web検索
国語	iPad	★「小学生こくご言葉と文 ゆびドリル」
算数	iPad 学習系PC	★「トドさんすう」「算数忍者～九九の巻～」「さんすうホームラン」 ★デジタルコンテンツ 「タングラム」「円と球」
理科	iPad	★「楽しい物理」◇ NHK for School 「ふしぎがいっぱい」
社会	iPad Pro	◇ NHK for School 「コノマチリサーチ」「電子黒板」 「知っとク地図帳」「見えるぞ!ニッポン」
	iPad ぼうけんくん	★「日本一周」「O×クイズメーカー『地図記号(自作)』」 ◇ お店調べのインタビュー
音楽	公務用PC iPad Pro	◇ パワーポイントでリズムゲームの紹介 ◇ リコーダー奏の録画
総合/自立 /その他	iPad  児童用PC プロジェクター /Wiiゲーム機	★「O×クイズ」「がっこうでじしんがおきたら」 ★「おしりたんていーシリーズ1～4」 ☆「南海トラフ地震にそなえちょき」(高知県HP家庭配布冊子) ◇ NHK for School「Q～こどものための哲学」「時々迷迷」 ◇ スクラッチで簡単なプログラミング体験 ◇ Wiiソフトのゲーム

## ■ 中学部 ICT機器の教科別活用状況

教科	ICT機器	◇活用内容、★アプリ名（学習内容） ◇番組名、 ★Web検索（学習内容）
国語	iPad	★「例解学習」（語句調べ） ★「筆順」（読み・漢字書き順） ★「四字熟語」（四字熟語） ★「はんぷくことわざ」 ★「古文漢文」 ◇ NHK for School「お話クラシック」 ◇ NHK「10min教材—古文・漢文」 例（「竹取物語」「平家物語」「徒然草」「枕草子」「奥の細道」） 「論語」「故事成語」「漢詩」 ☆インターネット検索（題材の関連資料や時代背景の調べ学習、図書を紹介） ☆スクリーンショット（題材関連の提示）
数学	iPad pro	★「数学トレーニング」 （中1：「正負の数」「文字と式」 中2：「連立方程式」「1次関数」「平行線と角」 中3：「式の計算」「平方根」「三平方の定理」）

## アプリやWeb検索、Wi-Fiを活用した学習効果

- 児童生徒の**興味関心の高まり**
- **集中力**を持続
- 病室でタブレットの書き込みが容易にできる。
- 学習進度に合わせた課題を簡単な操作で**繰り返し**解ける。
- **達成感**を味わうことができる。
- 理解の定着へ
- (指導側) 題材の視覚教材を**わかりやすく提示**できる。  
指導側の**手立てが増える**。  
「**主体的・対話的で深い学び**」への授業改善へ



# TV会議システム「ZOOM」を活用した取組

## 【前籍校との交流学习】

○授業：自立活動

○目標：

前籍校のクラスメートと近況報告を知らせ合うことで、心理的な安定を図り、復学への意欲を高める。

○参加者：前籍校：生徒A  
分校：生徒B



- お互いの近況報告
- 質問交換
- 教室の様子
- めだかの飼育状況の報告

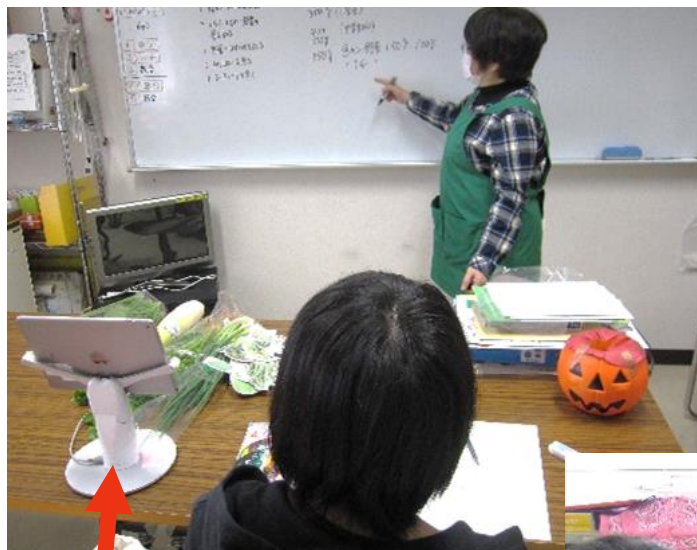
## 【成果】

- ・ 事前学習は、興味を強く持った様子ではなかったが、生徒Aの顔が画面に映った時は、「わっ」と嬉しそうに驚いた。
- ・ 生徒Bの感想：「緊張したが、〇〇さんと交流できて、学校の様子も少しわかってよかった。」
  
- ・ 生徒Bに**前籍校への思い**が強くなっているのを感じた。
- ・ リアルタイムで「今」を共有することができ、**入院生活の孤独感の軽減や退院・復学へ向けてのモチベーションの向上**が期待される。

# TV会議システム「ZOOM」 遠操作機器「Kubi」を活用した取組

【病室と教室をつないだ学習】

## 【総合的な学習の時間① 「食育」】



K u b i

K u b i

(教室)



(病棟の面談室)



## 【総合的な学習の時間 「食育」】

### ○目標：

- 食事の役割が分かり、日常の食事の大切さと食事の仕方について理解する。
- 一日分の野菜の摂取量を知る。

○講師： 栄養教諭

○参加者： 中学部2年生1名（病室の面談室）  
中学部3年生1名（教室）

## 【学習の様子】

### ○病室から参加した生徒

- ・初めて体験するシステム全てに、驚きとわくわくした表情で、「すごい、すごい」と言っていた。
- ・手元のiPadの画面を操作するたびに、画面の映像が動くことに喜んでいました。
- ・画面の教員からの質問に、積極的に発言していた。

### ○教室から参加した生徒

- ・机の横に設置してあるKubiの方向が動くことに、驚きまた、画面の生徒と一緒に授業を受けていることに不思議な感覚を覚えた様子が見られた。画面の生徒の発言が聞こえるたびに、笑っていた。

【総合的な学習の時間② 「インターネットの安心安全講座」】



## 【総合的な学習の時間①②を 終えて】

- ・ 学年が異なっているため教科学習は困難だが、総合的な学習の「食育」「インターネットの安心安全講座」には、共通課題として取り組むことができた。
- ・ 板書や提示物の説明時は、黒板の方へKubiの角度を向け、また、机上で野菜の分量を量る時は、その方向へ角度を向けることで、学習することが容易に可能であった。
- ・ 実際に野菜を測量する場面では、病室からの生徒は、その様子を画面を通してではあるが、リアルタイムで見ながら学習することができた。
- ・ 質問に対して、答えをお互いに発表し合うことができ、友だちと一緒に学習をしていることを意識することができた。

## 【病室と教室をつないだ学習】

### 【休み時間】



😊  
病室から  
けん玉を見たよ。



## 【平成30年度の成果】

- ・ 今まで課題とされていた**集団学習の成立**を期待できるものとなった。
- ・ 病室から自身の遠隔操作で主体的に参加できることは、操作の楽しさも加わり、学習活動へより**興味関心**を導き、**集中力**を持続させる効果が見られた。
- ・ 異学年でも、休み時間を利用して、少人数の分校での貴重な「**つながり**」を実現できた。

# 令和4年度の実践

# 子どもの主体的な学びにつながるICT活用

～タブレット端末の効果的な活用を考える～





# 中学3年国語 古文ー「おくのほそ道」

～芭蕉の旅路をたどり、心に響く俳句を見つけよう～

## ◆生徒の実態

### ○国語における実態

#### 〈現代文〉

- ・内容を読み取る力がある。
- ・語句や文法の基礎事項を理解している。

#### 〈古文〉

- ・苦手意識があるが、興味のある題材には自分の考えを積極的に発言できる。

### ○国語における課題

様々な情報や意見・考えを知り、自分の考えをより広げたり  
深めたりすること

## 単元の目標と評価規準

単元の目標	評価規準
<p><b>【知識及び技能】</b></p> <ul style="list-style-type: none"><li>・歴史的背景などに注意して古典を読むことを通して、その世界に親しむことができる。 <b>(3)言語文化ア</b></li></ul>	<p><b>【知識・技能】</b></p> <ul style="list-style-type: none"><li>・歴史的背景を理解し、作品と作者についての基礎知識をもつことができている。<b>(3)言語文化ア</b></li><li>・表現のし方や文体の特徴を理解し、本文や俳句を朗読している。<b>(3)言語文化ア</b></li></ul>
<p><b>【思考力、判断力、表現力等】</b></p> <ul style="list-style-type: none"><li>・文章を読んで考えを広げたり深めたりして、人間、社会、自然などについて自分の意見をもつことができる。<b>C読むこと(1)エ</b></li><li>・情報を編集して文章にまとめるなど、伝えたいことを整理して書くことができる。<b>B書くこと(2)イ</b></li></ul>	<p><b>【思考・判断・表現】</b></p> <ul style="list-style-type: none"><li>・「読むこと」において、文章に表れている作者のものの見方や感じ方について考えようとしている。<b>C読むこと(1)エ</b></li><li>・「読むこと」において、俳句に込められた作者の思いを想像し、自分の考えを述べている。<b>C読むこと(1)</b></li><li>・「書くこと」において、心に響く俳句について、自分の考えを鑑賞文に書いている。<b>B書くこと(2)イ</b></li></ul>
<p><b>【学びに向かう力、人間性等】</b></p> <ul style="list-style-type: none"><li>・言葉がもつ価値を認識するとともに、読書を通して自己を向上させ、我が国の言語文化に関わり、思いや考えを伝え合おうとする。</li></ul>	<p><b>【主体的に学習に取り組む態度】</b></p> <ul style="list-style-type: none"><li>・作者や作品について関心をもち、見通しをもって粘り強く課題に取り組もうとしている。</li><li>・今までの学習を生かして、自分の考えを述べようとしている。</li><li>・表現を工夫し、自分の考えを鑑賞文に書こうとしている。</li></ul>

## 単元の計画

次	時間	学習活動
1次	3時間	<p>○作品と作者の基礎知識をもつ。</p> <p>○原文を朗読し、内容や表現のし方、文体の特徴を捉える。</p> <p>○芭蕉の「旅」への思いと3句の俳句に込められたものの見方や感じ方を読み取る。</p> <ul style="list-style-type: none"><li>・序章「草の戸も住み替はる代ぞ雛の家」</li><li>・平泉「夏草や兵どもが夢の跡」</li><li>・平泉「五月雨を降り残してや光堂」</li></ul>
2次	3時間	<p>○俳句に込められた作者の思いを想像し、自分の考えを発表したり文章にまとめたりする。</p> <ul style="list-style-type: none"><li>・代表的な10句の俳句について自分の考えをスライドにまとめる。</li><li>・心に響く俳句を選び、鑑賞文を書く。</li></ul>

## ○導入

- ・NHK-For school の動画視聴。



## ○「序章」の部分を朗読し、芭蕉の「旅」に対する思いを読み取り、現代の旅がもつ意味と比べる。

- ・当時の旅や生活の様子 →インターネット検索

## ○「平泉」の部分を朗読し、高館や光堂での芭蕉の思いを想像する。

- ・歴史上の出来事や登場人物について  
(源義経、奥州藤原氏)や(平泉、中尊寺金色堂) →インターネット検索

## ○自分の考えを発表したり文章にまとめたりする

- ・「俳句地図」をたどりながら、「おくのほそ道」の旅路の景色を自分の視点で調べて選ぶ。  
→インターネット検索
- ・景色の画像と合わせて、各句について考えたり感じたりしたことをスライドにまとめる。  
→スライドで作成・Googleクラスルームに提出
- ・心に響いた俳句を選び、鑑賞文を書く。 →スライドで作成・Googleクラスルームに提出

# 参考:教科書(光村図書)より「おくのほそ道」俳句地図

157 いにしえの心を受け継ぐ ● 夏草
156

## 「おくのほそ道」俳句地図

**【最上川】**  
五月雨をあつめて早し最上川  
梅雨を集めて水かさ増した川の水が、急流となって下っていく。これこそが話に聞かされていた最上川なのだ。

**【平泉】**  
夏草や兵どもが夢の跡  
卯の花に兼房見ゆる白毛かな  
五月雨の降り残してや光堂  
158 へつ  
159 へつ  
159 へつ

**【出雲崎】**  
荒海や佐渡によこた小天河  
日本海の荒波は激しい。故郷を離れて暮らす人が多い佐渡島の上には、兼平と織女が年に二度出会おうという伝説のある天の川が大きく横たわっている。

**【立石寺】**  
閑かき岩にしみ入る蟬の声  
静かなことだ。ようやく登ってきた山の上の寺にただ聞こえるせみの声は、岩にしみ込んでいくように感じられる。

**【小松】**  
むごむごな甲の下のきりぎりす  
いたわしいことだ。昔、年老いた武将が白髪を黒く染めて戦ったのはこの地である。今は、その肥があった辺りに、きりぎりすが鳴くばかりだ。

**【那須】**  
野を横に馬をむけよほととぎす  
馬を引いている人よ、私を乗せて那須野を走らせた馬を横に向けてくれ。野の横の方ではほととぎすが鳴いたから。

**【大垣】**  
蛇の小たみにわかれ行く秋ぞ  
はまぐりの貝が蓋と身に分かれるように、私たちが三手に別れていく。行く秋(晩秋)という寂しい季節の中で。

**【栗川の江戸】**  
草の戸も佐々母はる代々羅の家  
155 へつ

注 「おくのほそ道」の旅での、教賀から大垣までの経路には諸説ある。ここでは、有力な二つの説を記すこととする。

# ◆取り組みの結果

1次 芭蕉の物の見方や感じ方を読み取る。－①「序章」 1/6

## ●振り返りシートより

### 【思考・判断・表現】

「序章」を読んで、芭蕉の「旅」への思いを理解することができましたか？

⇒「できた」

理由 松尾芭蕉の旅へかけた思いが分かったから

①NHK-For-Schoolの動画から芭蕉の旅した行程をイメージし、「おくのほそ道」に興味関心をもてましたか。  
線の上に●をつけましょう

もてた      だいたいもてた      あまりもてなかった      もてなかった

理由を書きましょう  
松尾芭蕉の旅をした風景が、あったから

②「おくのほそ道」の序章を読んで、芭蕉の「旅」への思いを理解することができましたか。  
線の上に●をつけましょう

できた      だいたいできた      あまりできなかった      できなかった

理由を書きましょう  
松尾芭蕉の旅へかけた思いが分かったから

③芭蕉の「旅」に対する思いについて、現代の旅のもつ意味と比べ自分の考えを発言できましたか。  
線の上に●をつけましょう

できた      だいたいできた      あまりできなかった      できなかった

理由を書きましょう  
自分の考える旅と松尾芭蕉の考える旅の違いが分かったから

### 【主体的に取り組む態度】

NHK-For schoolの動画から芭蕉の旅した行程をイメージし「おくのほそ道」に興味関心をもてましたか？

⇒「だいたいもてた」

理由 松尾芭蕉の旅をした風景があったから

### 【思考・判断・表現】

芭蕉の「旅」に対する思いについて、現代の旅のもつ意味と比べ自分の考えを発言できましたか？

⇒「できた」

理由 自分の考える旅と松尾芭蕉の考える旅の違いが分かったから

# 1次 芭蕉の物の見方や感じ方を読み取る。－②③「平泉」 2・3/6

## ●振り返りシートより

①「夏草や兵どもが夢の跡」を芭蕉が詠んだときの歴史的な背景について、関心をもつことができましたか。  
線の上に●をつけましょう

できた      だいたいできた      あまりできなかった      できなかった

理由を書きましょう

芭蕉が詠んだときの背景が少し分かったから

②「夏草や兵どもが夢の跡」の句を読んで芭蕉の思いを想像し、自分の感想を発言できましたか。  
線の上に●をつけましょう

できた      だいたいできた      あまりできなかった      できなかった

理由を書きましょう

自分の感想をまとめて言うことができた

### 【主体的に取り組む態度】 【知識・技能】

「夏草や兵どもが夢の跡」を芭蕉が詠んだときの**歴史的な背景**について、**関心をもつことができましたか。**

⇒「できた」

理由

芭蕉が詠んだときの背景が少し分かったら

### 【思考・判断・表現】

「夏草や兵どもが夢の跡」の句を読んで**芭蕉の思いを想像し、自分の感想を発言できましたか？**

⇒「できた」

理由

自分の感想をまとめて言うことができた  
(感想)

自然の雄大さと比べるというより、芭蕉は源義経たちへの思いが強かったと思う



## [評価規準に対して]－ 1次 芭蕉の物の見方や感じ方を読み取る

### 【主体的に取り組む態度】

- ・芭蕉の旅の過程(風景)について、動画視聴から大まかに理解し、「おくのほそ道」へ関心を持ち、見通しをもって取り組むことができていた。
- ・歴史的背景を知ること、場面に登場する人物たちの行動の理由を、社会科で学んだ知識と合わせて意欲的に解釈しようとしていた。

### 【知識・技能】

- ・「おくのほそ道」の文学的意義を理解できた。  
(中間テスト結果より―作者名・成立時代・文学的ジャンルを答えることができた)
- ・地の文と俳句の関係、表現技法を理解できていた。
- ・歴史的仮名遣いに注意して音読ができていた。

### 【思考・判断・表現】

- ・俳句から芭蕉の思いを想像し、自分の考えを発言することができていた。

## 2次 心に響く俳句を選び、鑑賞文を書く。 4・5/6

- ・「『おくのほそ道』一俳句地図」をたどりながら、作品(10句)にこめられた作者の思いを想像し、自分の考え(感想)をもつ。



### ●Googleスライドより、一部抜粋

#### 夏草や兵どもが夢の跡

・兵どもが夢見た場所も、夏草が生い茂ってなにもない。儚なさを感じた。

自分の感想



#### 閑さや岩にしみ入る蟬の声

・立石寺は山奥にあり、人の声はせず蟬の鳴き声だけが聞こえてくるイメージが湧いてくる。  
・この句にある「岩」というのは、普通の岩という意味もあると思うが、たくさんの階段を登って疲れ切った心に染みるという意味もあるように感じた。

●Googleスライドより、一部抜粋



五月雨をあつめて早し最上川

・五月雨を集めたかのような広くて長い川が想像できた。

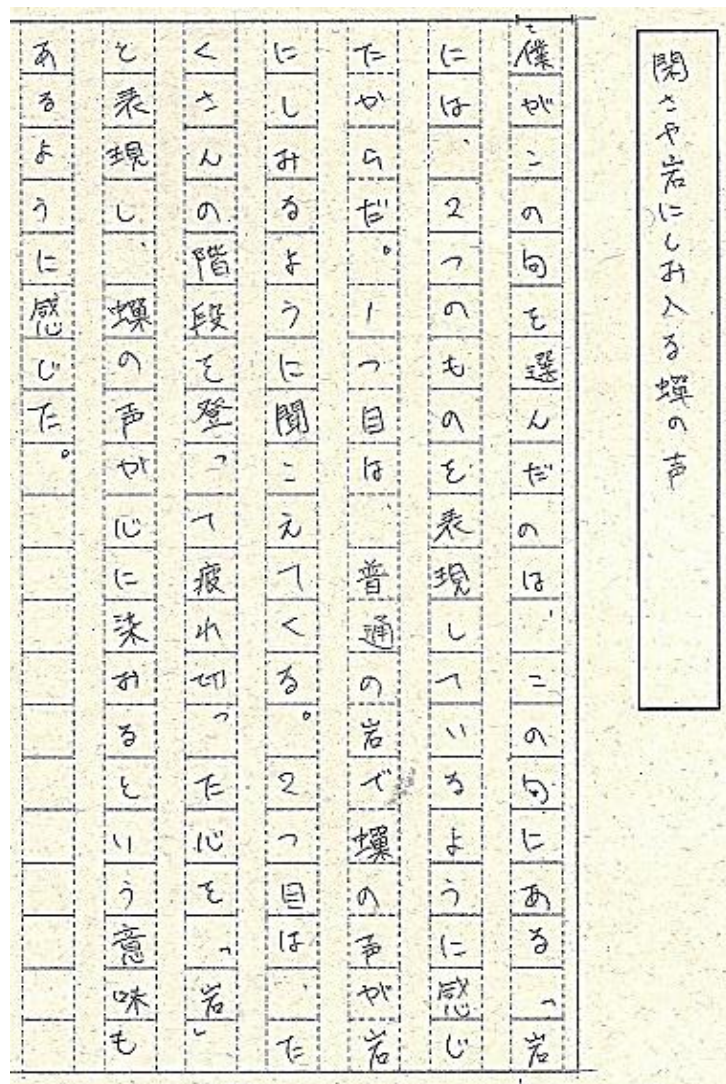


荒海や佐渡によこたふ天河

・荒海の激しい感じと天河の優しい感じを対比しているように感じた。

2次 心に響く俳句を選び、鑑賞文を書く。 6 / 6

●鑑賞文から



僕がこの句を選んだのは、この句にある「岩には、2つのものを表現しているように感じたからだ。1つ目は、普通の岩で蟬の音が岩にしみ入るように聞こえてくる。2つ目はたくさんの階段を登って疲れ切った心を「岩」と表現し、蟬の音が心に染み入るといいう意味もあるように感じた。

閑さや岩にしみ入る蟬の声

## 2次

①「『おくのほそ道』一俳句地図」をたどり、作品(10句)にこめられた作者の思いを想像し、自分の考え(感想)をもつ。 4・5/6

### ●振り返りシートより

①「俳句地図」の句をスライドにまとめる学習に進んで取り組むことができましたか。  
線の上に●をつけましょう

●

できた      だいたいできた      あまりできなかった      できなかった

理由を書きましょう

( 1つ1つの俳句を景色と一緒にまとめることができた。  
スライドの作成は得意だから。 )

②「俳句地図」の句をスライドにまとめる学習の中で、芭蕉の思いを想像し自分の感想をもつことができましたか。  
線の上に●をつけましょう

●

できた      だいたいできた      あまりできなかった      できなかった

理由を書きましょう

( 画像の景色を見て俳句に書かれている言葉だけでなく、その俳句について深く考えることができた。 )

#### 【主体的に取り組む態度】

「俳句地図」の句をスライドにまとめる学習に**進んで取り組むことができましたか。**

⇒「できた」

理由

スライドの作成は得意だから。

一つ一つの俳句を景色と一緒にまとめることができた

#### 【思考・判断・表現】

「俳句地図」の句をスライドにまとめる学習の中で、芭蕉の思いを想像し**自分の感想をもつことができましたか。**

⇒「できた」

理由

画像の景色を見て俳句にかかっている言葉だけではなく、その俳句について深く考えることができた

## ●振り返りシートより（続き）

③「心に響いた俳句」を選び、その理由やどのように感じたかを書く（発表する）ことができましたか。

できた      だいたいできた      あまりできなかった      できなかった

「深く考えられる、感じられる句が1句でもあったから。」

### 【思考・判断・表現】

「心に響いた俳句」を選び、その理由やどのように感じたかを書くことができましたか。

⇒「できた」

### 理由

深く考えられる、感じられる句が1句でもあったから。

④「俳句地図」の句をスライドにまとめた学習で、芭蕉についてあなたが感じたことを書きましょう。

「今までは、「こんな俳句があるんだ」くらいにしか感じなかったが、この学習をして俳句の情景などを考えることができるようになった。スライドを作りながら、俳句を覚えることもできた。」

### 【思考・判断・表現】

「俳句地図」の句をスライドにまとめた学習で、芭蕉についてあなたが感じたことを書きましょう。

⇒今までは「こんな俳句があるんだ」くらいにしか感じなかったが、この学習をして俳句の情景などを考えることができるようになった。  
スライドを作りながら、俳句を覚えることもできた。

## [評価規準に対して]－2次 心に響く俳句を選び、鑑賞文を書く

### 【主体的に取り組む態度】

- ・一句ごとに景色を選択し、その景色をスライド全面に配置するなど、俳句を詠んだ芭蕉の思いを読み取ろうと見通しをもって意欲的に課題に取り組もうとしていた。

### 【思考・判断・表現】

- ・一句ごとに景色の画像をよく見て、自分がその場所にいるイメージをもって、自分の考え(感想)を書くことができていた。
- ・心に響く俳句を選ぶ際にはスライドを振り返り、感想を多く書けた俳句から一句を選ぶことができた。また、選んだ理由とどのように感じたかについてよく考え、指示された字数で鑑賞文を書くことができていた。

## ◆まとめ 中学3年国語 古文—「おくのほそ道」

### 【ICTの活用によって】

#### ○インターネットによる検索の活用によって

- ・単元の導入でNHK-For schoolを活用したことで、作品の時代背景や原文の紹介、芭蕉の旅路について、作品全体のイメージを最初に大まかに捉えることができた。
- ・語句など題材の検索によって、作品成立当時の人々の日常生活や登場人物の顔写真、人間関係を知ることができ、題材の理解につながった。
- ・画像検索によって、芭蕉の旅路の景色を多くの画像の中から自分で選ぶ活動となり、旅を具体的にイメージすることにつながった。

#### ○スライドの活用によって

- ・生徒自身がスライドの操作に自信があったことで、画像のレイアウトや文字のバランスを考えながら、見通しをもって意欲的に取り組める「主体的な学び」となったと考える。
- ・スライドを活用したことで、その構成の特徴から一句ごとに画像(芭蕉の行程の景色)を印象強く捉えることができたと考えられる。また同時に、作成の過程で俳句を覚えられたことから、画像と俳句の言葉(例:「岩」など)をじっくり考える「深い学び」になったと考える。





- ・ 名前と俳句を作る人ぐらいしか知らなかった・・・
- ・ 様々な情報や意見・考えを知り、自分の考えをより広げたり深めたりすること
- ・ 古文への苦手意識

ICTを活用



## 単元の目標を達成

【思考・判断・表現】や【学びに向かう力・人間性】の育成について、ICTの活用が重要な役割を果たした。

【知識・技能】についても、社会科における学習等を生かして理解を深めている様子が見えかけた。

## 生徒の苦手さ、課題に成果

古文の苦手さを感じることなく主体的に学習に取り組むことができた。

「自分の考えを広げたり深めたりする」力を伸ばすことができた

## 【課題】

- ・「スライド」を前籍校のGoogleクラスルームで共有し、  
友だちと感想の交流を行うと、生徒自身の考えをより広げ深める活動になると思われる。  
個別学習を行っている分校で、国語科の「対話的な学び」をどう発展させるかが課題である。
- ・今後も、單元ごとの学習目標を達成するために効率的、効果的な手立てとなるかどうかを考え、生徒の主体性を導き、理解の定着と深い学びを展開できる使い方を考えていきたい。

ご清聴ありがとうございました。